

平成 23 年 8 月 1 日

各 位

バンクネガラインドネシアとの業務協力協定締結について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長兼CEO：里村 正治）は、本日、インドネシア共和国のバンクネガラインドネシア（本社：インドネシア ジャカルタ市、東京支店長：ガトット ゲンピロ ヌグロホ氏）との間で、業務協力協定を締結いたしましたのでお知らせいたします。

バンクネガラインドネシアは、インドネシア国内第 4 位の国有商業銀行であり、2010 年 12 月末における資産規模は約 2 兆 7 千億円、支店数は 1,148 を数えます。すでに日本国内の 6 つの地方銀行と業務協力協定を締結（平成 23 年 7 月 31 日時点）しており、東北ではフィデアグループが第 1 号の業務協力協定締結先となります。

今回の業務協力協定により、フィデアグループを介して、既にインドネシアへ進出している、あるいは新たに進出を検討している地元企業・事業主の皆さまに、きめ細かい金融情報サービスを提供することが可能となりました。また、東北地方へ投資をするインドネシアの企業に対しては、バンクネガラインドネシアを介してフィデアグループがバックアップさせていただきます。具体的には、進出企業に係る情報交換や進出時のノウハウ交換、ビジネスマッチング、人材交流、投資家セミナーや視察団の派遣などを実施していく予定です。

昨今の成長著しいインドネシアは、1 千社を超える日系企業が海外進出する一大拠点であり、秋田、山形、宮城各県の地元企業の進出も今後大いに見込まれます。この業務協力協定は、東北とインドネシア共和国の経済交流が今後ますます盛んになることを展望し、お互いが持つ地域情報を有効に活用することによって、お客さまに提供する金融情報サービスの充実させることを目的としています。

フィデアグループは、この業務協力協定を契機に、観光、メディカルケア、アグリビジネスや環境関連ビジネスなど、今後の経済成長をけん引しうる成長分野に対する支援を一層強化し、地域活性化に貢献する「地域のフロントランナー」となるべく努力してまいります。

以上